

2020年4月20日
日興アセットマネジメント株式会社

資源株ファンド 通貨選択シリーズ
<ブラジルリアル・コース> <南アフリカランド・コース> <オーストラリアドル・コース> <米ドル・コース>
(毎月分配型)

2020年4月決算と今後の見通しについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております掲題ファンドは、2020年4月17日に決算を迎えました。今回の決算において、現在の基準価額水準やファンドを取り巻く市況動向などを総合的に勘案し、また、お支払いする分配金額を抑えることで期待される再投資効果により、将来の運用成果を高めることをめざし、各コースの分配金額を以下の通り見直すことと致しました。

次ページ以降で、今後の見通しなどについてまとめておりますので、ご一読いただければ幸いです。

当ファンドは、基準価額の回復をめざし、鋭意運用を行なってまいります。今後とも、「資源株ファンド 通貨選択シリーズ」の各コースをご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

分配実績

コース名		ブラジルリアル・コース	南アフリカランド・コース	オーストラリアドル・コース	米ドル・コース
分配金額 (税引前、 1万口当たり)	2020年 4月	<引き下げ> 3円	<引き下げ> 7円	<引き下げ> 5円	<引き下げ> 10円
	2020年 3月	10円	20円	30円	30円
2020年4月17日現在の 基準価額 (税引前分配金控除後)		579円	1,186円	1,941円	3,813円

※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の1万口当たりの値です。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ <ブラジルリアル・コース> <南アフリカランド・コース> <オーストラリアドル・コース> <米ドル・コース> (毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者の
コメント①

商品市況について、現時点での見解を教えてください。

【資源価格は、数カ月は厳しい状況が続く見通し】

- 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて消費者行動が大きく抑制されるなか、少なくとも今後数カ月は、資源価格に下押し圧力が続くと考えられます。これに対し、一部の資源関連企業は、すでに操業一時中止や手元資金維持のための設備投資抑制などに踏み切っており、供給縮小によって資源の需給バランスは幾分調整されています。
- 原油については、OPEC（石油輸出国機構）加盟・非加盟国による協調減産の延長・拡大に向けた3月初旬の協議が、市場シェアを重視するロシアの反対で決裂しました。これを受け、従来、減産を主導してきたサウジアラビアが一転して市場シェア拡大のための増産や輸出拡大計画を発表したほか、公定販売価格の引き下げを行なったことなどから、市場ではこれが嫌気され、原油価格（WTIベース）は2002年以来の水準に急落しました。
- 現在の原油価格では政府予算の収支の不均衡が生じるため、産油国各国にとって大きな財政的ダメージにつながると考えられます。そうしたことを背景に、4月12日にはOPEC加盟・非加盟国が日量970万バレルの減産を行なうことで合意し、原油価格の引き上げに向けた動きが進んでいます。しかし、原油の需要は新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞で大きく落ち込んでおり、協調減産がどれほど価格の安定につながるかは不透明とみる向きもあります。

【米原油生産は低下基調へ】

- シェール企業の台頭により、米国の原油生産は近年、世界の原油生産の1割を占めるまでになりました。しかし、足元の低価格水準では多くのシェール企業が減産や撤退を余儀なくされ、50米ドル程度に回復しないと稼働再開は難しいとみられることから、米国のシェアは今後、低下に向かうと考えられます。また、石油関連企業の積極的な投資削減も背景に、供給削減が進むにつれ、世界経済が回復に転じた際、原油需要の回復とともに、原油高・関連株の上昇が同時に起こると期待されます。

＜WTI原油先物価格の推移＞

（2000年1月初～2020年4月9日）



※ 当資料は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラール・リソース・ファンド」を運用する日興アセットマネジメントアメリカズ・インクからのコメントなどをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ＜ブラジルリアル・コース＞ ＜南アフリカランド・コース＞ ＜オーストラリアドル・コース＞ ＜米ドル・コース＞（毎月分配型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者の
コメント②

資源株について、現時点での見解を教えてください。

【資源関連企業の財務状況は依然良好】

- 足元の厳しい環境にもかかわらず、エネルギーセクターの企業の財務状況は改善傾向にあり、各社のビジネス状況やバランスシート、資源生産や販売におけるリスク回避のために行なわれるヘッジポジションなどは、原油価格が前回暴落した2016年の水準に比べてかなり良い状況にあります。
- 近年増産が続いてきた米国の原油生産の伸びは減少傾向にあり、足元では、新型コロナウイルスの影響も背景に減少ペースの加速が見られます。従来は、米産原油の供給増が、原油価格の下押し圧力となっていただけに、足元での減少傾向は、今後の原油価格の重要な転機となる可能性が期待されます。

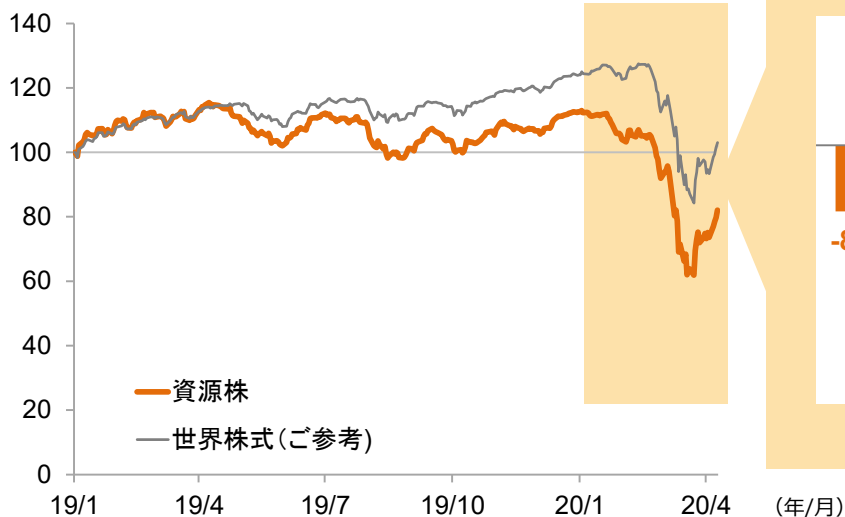
【割安感が強まる現状は、魅力的な投資機会】

- 天然資源全般は限りある資源であるほか、今後も、新興国を中心とした中長期的な需要が見込まれるという基本的な着眼点は変わっていません。そのため長期的には、将来埋蔵量が減少するような資源に投資妙味があると考え、投資においては、現在の株価水準が将来的な投資妙味をどの程度織り込んでいるかを判断することが重要です。そして、株価は、本源的価値と乖離する場合がありますが、その状態は長くは続かないため、まさに今のような状況は魅力的な投資機会であると考えます。

＜資源株と世界株式の推移(米ドルベース)＞

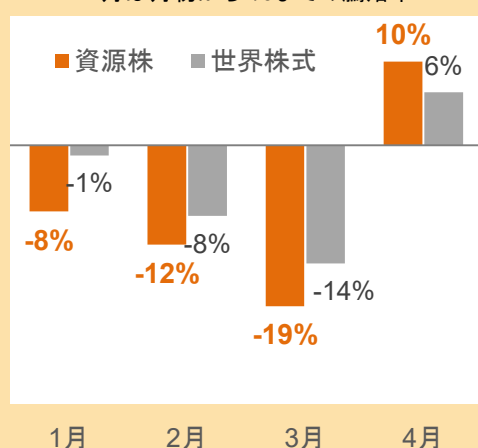
(2019年1月初～2020年4月9日)

グラフ起点を100として指数化



＜2020年の月間騰落率＞

4月は月初から4/9までの騰落率



資源株：S&Pグローバル・ナチュラール・リソースズ指数、世界株式：MSCI AC ワールド指数

※ 上記指数は、市況動向をご紹介するための参考指標であり、当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ <ブラジルリアル・コース> <南アフリカランド・コース> <オーストラリアドル・コース> <米ドル・コース> (毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者の
コメント③

足元のポートフォリオの運営について教えてください。

【バリュエーション面などの魅力度が高い銘柄の投資比率を引き上げ】

- 株式市場の大幅な下落によって、天然資源セクターなどの銘柄の多くは非常に割安な水準となっておりと考えられます。鉱業セクターの企業については、過去数年間、大規模な投資を控えてきた企業が多く、相対的な財務健全性が高い銘柄が多いと考えています。このような銘柄については、短期的なショックへの耐性が高く、投資比率を引き上げる好機であるとみています。
- また、足元の株価急落時において相対的にアウトパフォームした銘柄については、他の魅力的な銘柄への投資のために一部換金売りを行ない、原油価格の回復時に恩恵を大きく受けると見込まれる油田の掘削・生産の大手企業などのポジションを増加させました。
- ポートフォリオの運営については、足元の厳しい環境でも生き残れる体力・流動性を持つ企業や、魅力的なバリュエーションを持つ企業などを主に選好しながら、状況に応じて柔軟に調整しています。引き続き、企業の財務状態などをチェックしながら、適切なポートフォリオの構築に努めてまいります。

【財務健全性に着目したポートフォリオの構築】

- 新型コロナウイルスの感染拡大や、産油国各国による原油の協調減産の効果が不透明な状況にあることを考慮すると、エネルギーの需給が安定化するまでの期間においては、健全な財務体質を持つ企業への投資比率を引き上げるべきだと考えており、当ファンドのポートフォリオは財務健全性の高い銘柄を中心に構成しています。
- 新型コロナウイルスによる悪影響は深刻なものであり、世界各国の感染抑制のための施策によって短期的にはエネルギー需要は減少し、原油価格の低下要因になると考えられます。原油価格が1バレル＝20米ドル台の水準でも利益をあげることができるエネルギー関連企業は、ほとんど存在しないと考えられます。
- 小規模な生産者やバランスシートが健全でない生産者は掘削活動の延期や停止を余儀なくされるとみられますが、長期的には、供給の減少によって原油市場が均衡に向かい、原油価格およびエネルギー関連企業の株価上昇につながるものと期待しています。
- 当ファンドで保有している銘柄の多くは、借入比率の低い銘柄となっています。また債務期限も長い銘柄が多いことから、借り換えの必要性が低く、資金繰りのリスクも低い状態にあると考えています。

運用者の
コメント④

資源国通貨の見通しについて

通貨見通し



ブラジル
レアル

- 新型コロナウイルスの感染拡大によって、世界的に景気後退懸念が高まっている中、ブラジル国内でも感染者数と死者数が増加しており、ブラジルの景気後退懸念が高まっています。
- ブラジル中央銀行はブラジルレアル買いの為替介入を継続していますが、景気後退懸念や商品市況の低迷に加えて、投資家のリスク回避姿勢の高まりを背景とした新興国全般からの資金逃避の動きもあり、変動性の高い展開が続くものと思われます。



南アフリカ
ランド

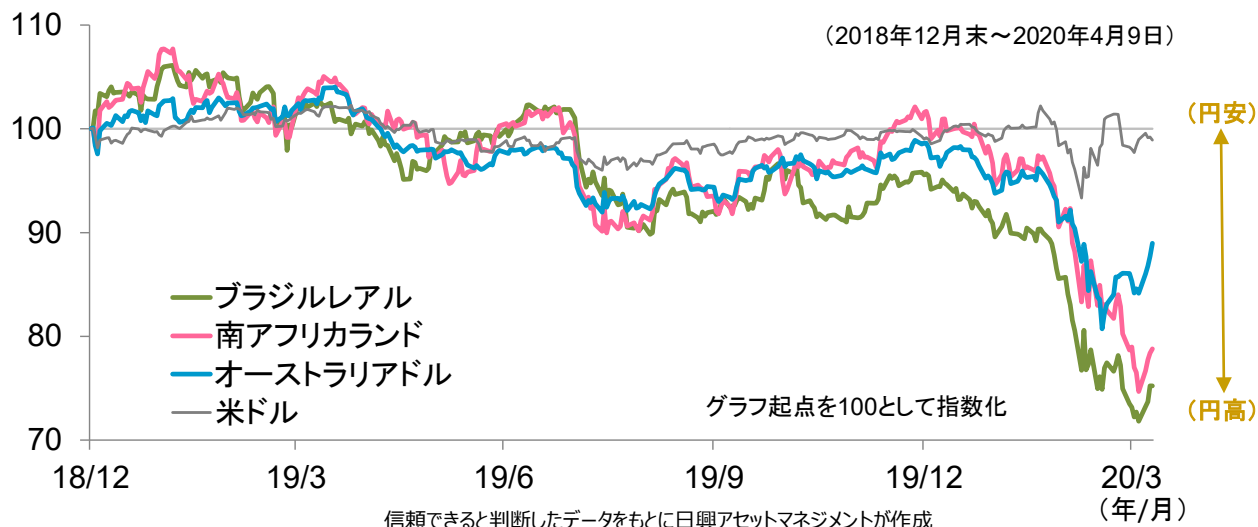
- 世界的な新型コロナウイルスの感染拡大などを背景に、世界景気の減速懸念が強まったことや、商品市況の低迷などを受けて、売られる展開となりました。
- 大手格付会社が同国の外貨および自国通貨建て長期発行体格付を投資不適格級に引き下げるなど、財政への懸念が更に強まっており、今後も変動性の高い展開が続くものと思われます。



オーストラリア
ドル

- 国内の森林火災や最大の貿易相手国である中国における新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気下振れ懸念などが売り材料となりました。
- また、オーストラリア準備銀行が、3月初めに政策金利を0.25%ポイント引き下げ、3月19日にはさらに0.25%ポイント引き下げ、過去最低の0.25%にしています。世界経済のリセッション懸念や低迷する商品市況などが、オーストラリアドルの下押し要因となるものと思われます。

各国通貨の推移(対円)



※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ <ブラジルレアル・コース> <南アフリカランド・コース> <オーストラリアドル・コース> <米ドル・コース> (毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

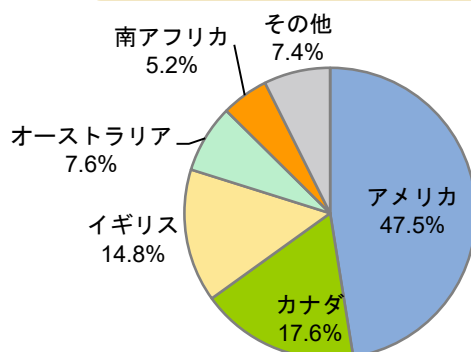
※以下は、当ファンドの主要投資対象である「ナチュラル・リソース・ファンド」のポートフォリオの内容です。

ポートフォリオ概要 (2020年3月末現在)

業種比率

業種	比率
素材	53.3%
エネルギー	41.9%
生活必需品	2.6%

国別株式組入比率



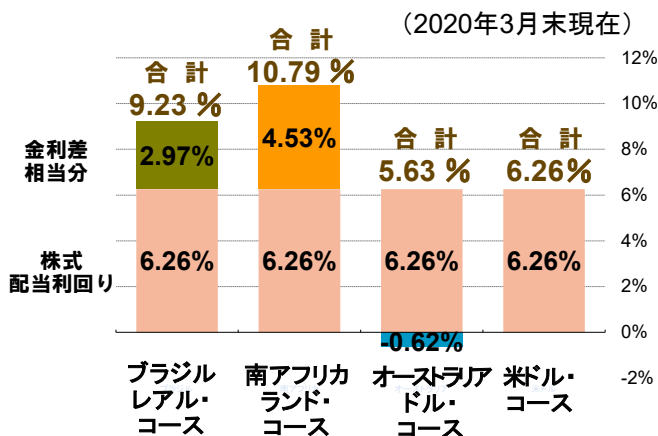
株式組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	BHPグループ	イギリス	素材	6.48%
2	リオ・テント	オーストラリア	素材	6.45%
3	ニュートリエン	カナダ	素材	4.69%
4	シェブロン	アメリカ	エネルギー	4.34%
5	トタル	フランス	エネルギー	3.82%
6	エクソンモービル	アメリカ	エネルギー	3.53%
7	バリック・ゴールド	カナダ	素材	3.44%
8	ロイヤル・ダッチ／シェル	イギリス	エネルギー	3.26%
9	アングロ・アメリカン	南アフリカ	素材	3.20%
10	シュルンベルジェ	アメリカ	エネルギー	2.75%

【銘柄数: 60銘柄】

※上記比率は、「ナチュラル・リソース・ファンド」の組入株式評価総額に対するものです。
※各数値は四捨五入処理をしておりますので、合計が100%にならない場合があります。

【ご参考】株式配当利回りと各通貨の金利差相当分



※金利差相当分：ブラジルリアル短期金利（1ヵ月国債利回り）、南アフリカランド短期金利（ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月）、オーストラリアドル短期金利（1ヵ月物銀行手形金利）から、それぞれ米ドル金利（1ヵ月LIBOR）を差し引いて算出。
株式配当利回り：「ナチュラル・リソース・ファンド」の株式配当利回り
※各数値は四捨五入処理をしておりますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
※金利差相当分は、各資源国通貨と米ドル間の金利差水準によっては為替取引によるコストとなり、運用成果にマイナスに働くこともあります。
※実際の運用においては、為替取引時の手数料相当額などが金利差相当分に加味されます。

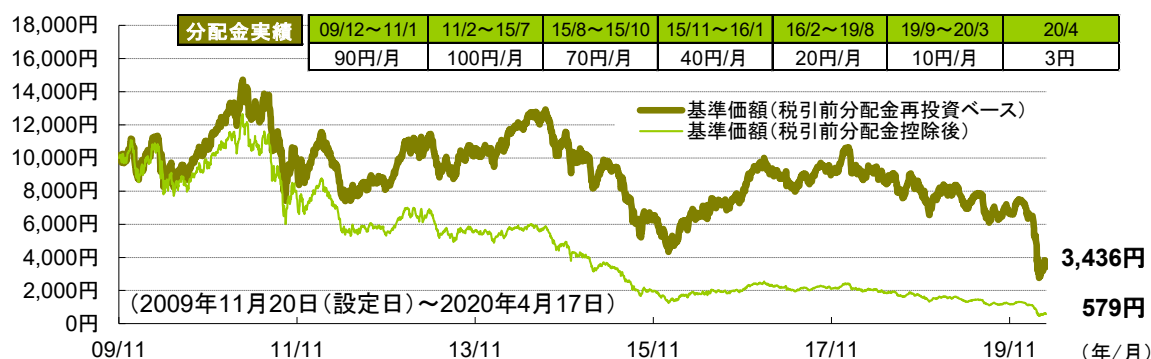
日興アセットマネジメント アメリカズ・インクより提供された情報をもとに
日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

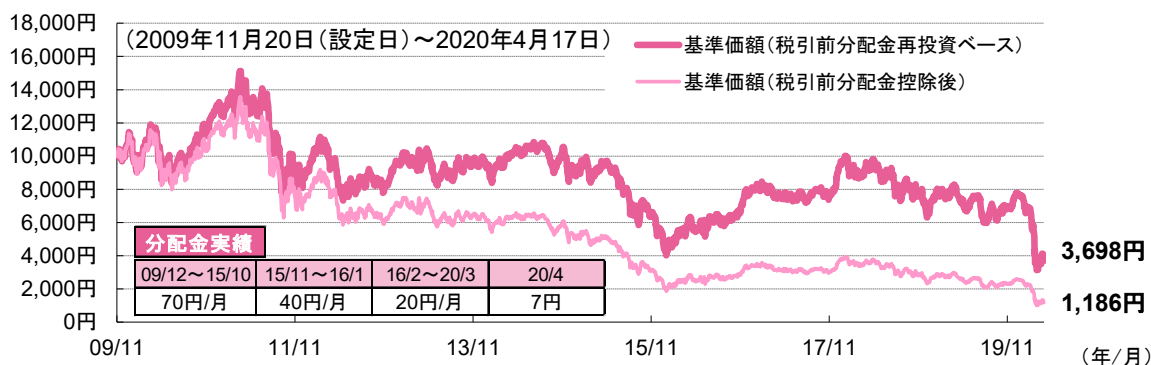
■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ <ブラジルリアル・コース> <南アフリカランド・コース> <オーストラリアドル・コース> <米ドル・コース>（毎月分配型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

基準価額と分配金の推移

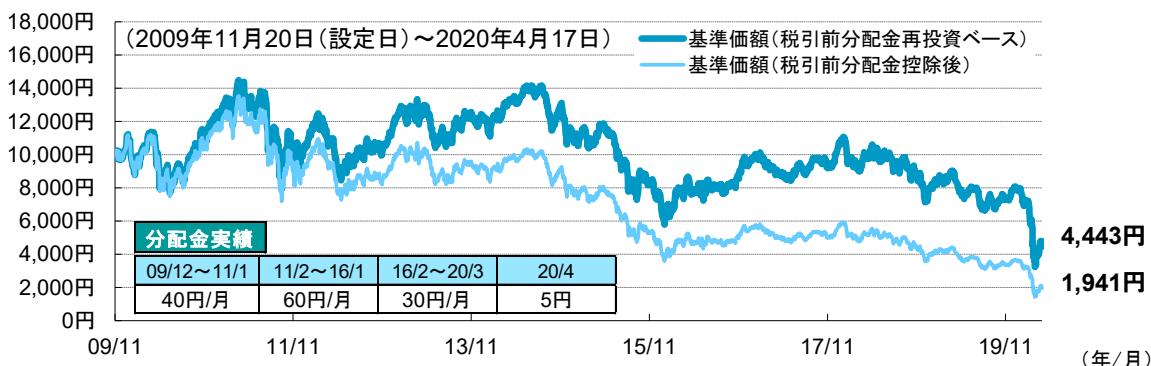
ブラジル リアル・ コース



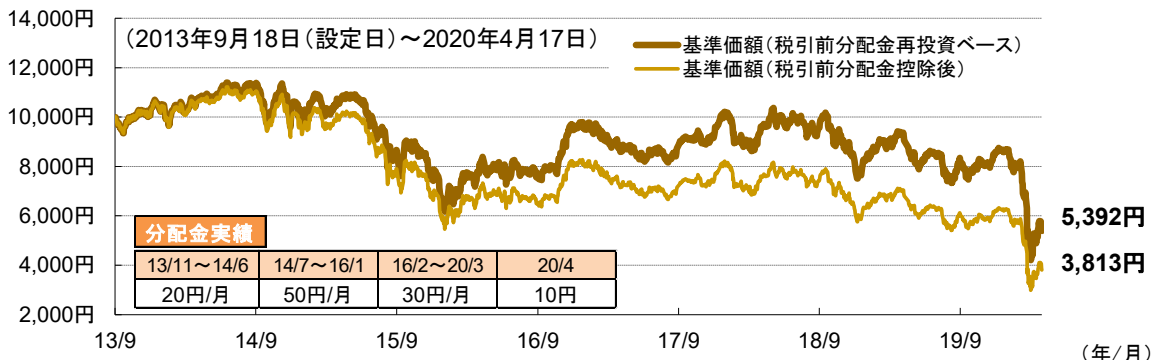
南アフリカ ランド・ コース



オーストラリア ドル・ コース



米ドル・ コース



※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。
 ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース> <南アフリカランド・コース> <オーストラリアドル・コース> <米ドル・コース> (毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ご参考

投資信託の一般的な仕組みに関するFAQ

Q1.基準価額が0円になってしまうことはあるのですか？

■ **A.投資信託の基準価額が0円になるという可能性は、非常に低いと考えられます。**

一般的に投資信託（ファンド）は、複数の銘柄に分散して投資をしています。また、組入れている有価証券は常に同じというわけでもありません。そのため、**ファンドが保有しているすべての有価証券の価値が無価値となり、その結果として基準価額が0円になるという可能性は非常に低いと考えられます。**

なお、基準価額の水準が低いファンドにおいても同様のことが言えます。具体例として、保有資産が全く同一（便宜的にX社の株式のみ保有と仮定）のファンド（A）と（B）があったとします。それぞれのファンドの基準価額は、（A）10,000円、（B）500円です。この時、X社の株価が10%下落したとすると、ファンドの基準価額は以下のように変化します。

【保有資産（X社株式）が10%下落した場合の、ファンド（A）（B）の値動き】

	X社株式（株価）	ファンドA（基準価額）	ファンドB（基準価額）
前日の価格	100円	10,000円	500円
本日の価格	90円 ↓ -10% (-10円)	9,000円 ↓ -10% (-1,000円)	450円 ↓ -10% (-50円)

※上記は一例であり実際のファンドの値動きを示すものではありません。

ファンド（A）（B）の基準価額の変化率は同じ-10%ですが、**基準価額水準が低い場合には、基準価額の変化金額も小さくなります。**このことから、基準価額が0円になってしまう可能性と基準価額水準の高低は関係ないということがわかります。

ファンドを見るうえでは、基準価額の水準そのものは重要ではなく、「保有資産の価値が将来的にどうなるか」を見極めることが、最も重要であると考えられます。

※ファンドの一般的な仕組みについて説明したものであり、為替の影響やファンドのコスト等については考慮していません。

Q2.毎月分配型ファンドにおいて、分配金を0円にすることはあるのですか？

■ **A.分配可能額や基準価額水準などを総合的に勘案し、委託会社の判断で決定します。**

分配金を決定するにあたっては、分配可能額や基準価額の水準など、様々な要素を総合的に勘案して決定を行います。よって、「分配金がゼロになることはない」と断言できるものではありませんが、今後も各ファンドの収益分配方針に則って分配を行なってまいります。

Q3.基準価額水準が低下したことによって、繰上償還することはあるのですか？

■ **A.基準価額水準だけで繰上償還を判断することはありません。 ※約款に定めがある場合を除く**

ファンドを繰上償還する場合、交付目論見書などに記載のある条件に則り判断します。条件はファンドにより様々ですが、一般的には、「ファンドの純資産総額が一定程度の水準を下回った場合」「繰上償還することが受益者のために有利であると認めるとき」などを条件としており、受益者の皆様に書面決議（または異議申立）にてご意見を伺い、判断します。

よって基本的には、基準価額水準が低下したことだけをもってファンドの繰上償還を判断することはありません。

※個々のファンドの分配方針や繰上償還条件は目論見書等でご確認ください

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ＜ブラジルリアル・コース＞ ＜南アフリカランド・コース＞ ＜オーストラリアドル・コース＞ ＜米ドル・コース＞（毎月分配型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われるとその金額相当分、基準価額は下がります。

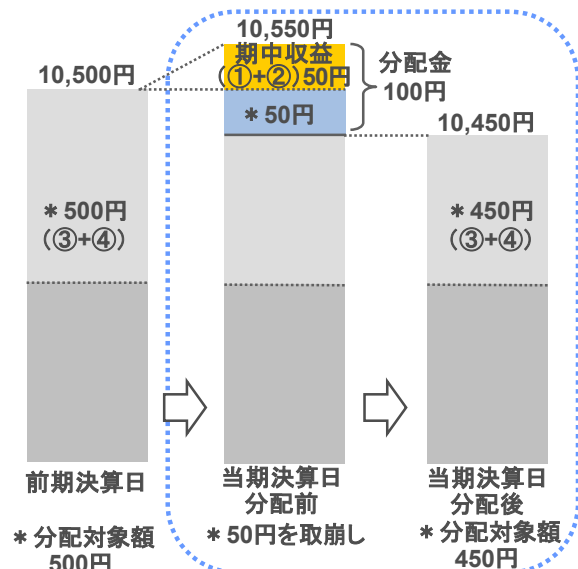
投資信託で分配金が支払われるイメージ



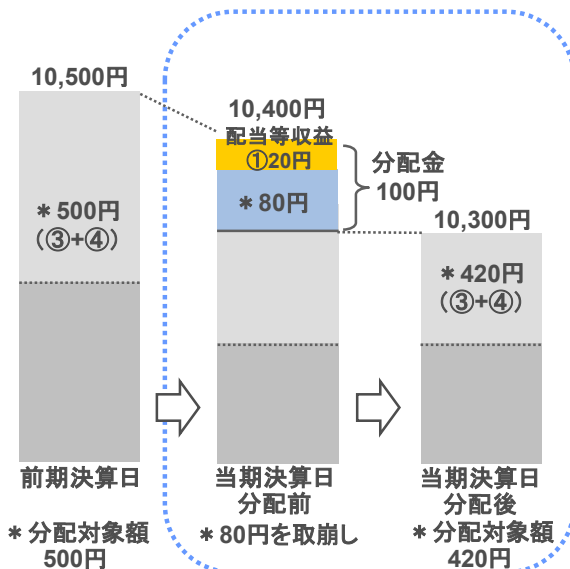
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合

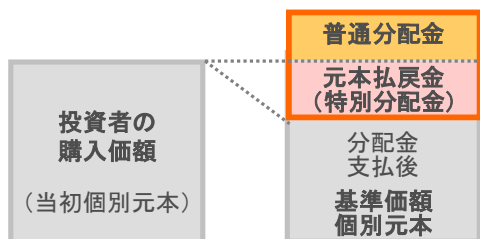


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

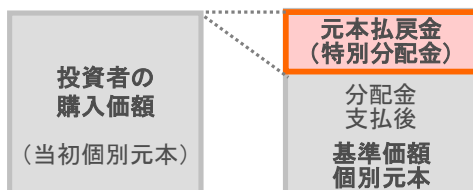
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

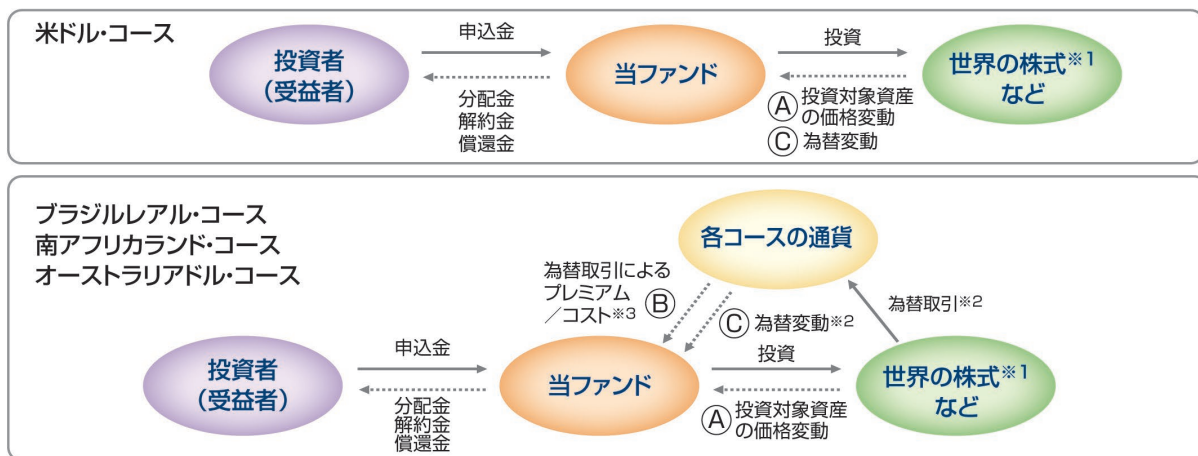
元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ <ブラジルリアル・コース> <南アフリカランド・コース> <オーストラリアル・コース> <米ドル・コース> (毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(株式や債券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※1 当ファンドは、外国投資信託を通じて世界の株式に投資を行ないます。

※2 各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。

※3 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、「リスク情報」をご覧ください。

収益の源泉		(A) 株価の値上がり/値下がり	(B) 為替ヘッジプレミアム/コスト	(C) 為替差益/差損
米ドル・コース	収益を得られるケース	株価の上昇*	為替ヘッジを行なわないのでありません。	為替差益の発生 原資産通貨に対して円安
	損失やコストが発生するケース	株価の下落*		為替差損の発生 原資産通貨に対して円高
収益の源泉		(A) 株価の値上がり/値下がり	(B) 為替取引によるプレミアム/コスト	(C) 為替差益/差損
ブラジルリアル・コース 南アフリカランド・コース オーストラリアドル・コース	収益を得られるケース	株価の上昇*	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 各コースの通貨の金利がプラス	為替差益の発生 各コースの通貨に対して円安
	損失やコストが発生するケース	株価の下落*	コスト(金利差相当分の費用)の発生 各コースの通貨の金利がマイナス	為替差損の発生 各コースの通貨に対して円高

* ADRに投資する場合、ADRの価格には、当該現地株式の通貨に対する米ドルの変動が含まれます。そのため、当該現地株式の通貨に対して米ドル安であれば、株価上昇要因、当該現地株式の通貨に対して米ドル高であれば、株価下落要因となります。

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。
- 為替取引には、為替ヘッジ(原資産通貨を売り、円を買う取引)が含まれています。為替ヘッジの場合、「為替取引によるプレミアム/コスト」を「為替ヘッジプレミアム/コスト」といいます。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ <ブラジルリアル・コース> <南アフリカランド・コース> <オーストラリアドル・コース> <米ドル・コース> (毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

1. 主として世界の資源株に投資を行ない、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
 2. 「ブラジルリアル・コース」「南アフリカランド・コース」「オーストラリアドル・コース」「米ドル・コース」の4つのコースがあります。
 3. 毎月、収益分配を行なうことをめざします。
※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。
- 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様
に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式(預託証券を含みます。以下同じ。)を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース><南アフリカランド・コース><オーストラリアドル・コース><米ドル・コース>(毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社

日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
- 受託会社

三井住友信託銀行株式会社
- 販売会社

販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
[ホームページ]www.nikkoam.com/
[コールセンター]0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)

お申込みメモ

- 商品分類

追加型投信／内外／株式
- 購入単位

販売会社が定める単位
※販売会社の照会先にお問い合わせください。
- 購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 信託期間

【ブラジルリアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース】
2024年6月17日まで(2009年11月20日設定)
【米ドル・コース】
2024年6月17日まで(2013年9月18日設定)
- 決算日

毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
- 購入・換金申込不可日

販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込み日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込み(スイッチングを含みます。)の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 換金代金

原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「資源株ファンド 通貨選択シリーズ <ブラジルリアル・コース> <南アフリカランド・コース> <オーストラリアドル・コース> <米ドル・コース> (毎月分配型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 購入時の基準価額に対し3.85%(税抜3.5%)以内
 ※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。
 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
 ※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行えない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬) 純資産総額に対し年率1.81%(税抜1.71%)程度が実質的な信託報酬となります。
 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.1%(税抜1%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.71%程度となります。
 受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。

その他の費用・手数料 【ブラジルリアル・コース／南アフリカランド・コース／オーストラリアドル・コース】
 目論見書などの作成・交付に係る費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。
 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

【米ドル・コース】
 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。
 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。